



## 外国出張報告書

平成 26 年 11 月 13 日

1. 出張国名           タイ
2. 出張月           平成 26 年 10 月～11 月
3. 出張目的           第 4 回国際イネ会議（IRC）への参加：D

#### 4. 成果の概要

GRiSP（世界イネ科学パートナーシップ）リード研究所である国際稲研究所（IRRI）が主催者となっている第 4 回国際イネ会議に我が国の研究者が参加し、成果を発表することは GRiSP の目標である連携の深化にとって重要である。

近年の温暖化にともなうコメの高温障害によって外観品質低下が、日本国内のみならずコメ生産の約 90%を担う生産地であるアジア諸国においても問題となっている。

出張者は、これまで高 CO<sub>2</sub> 条件にともなうコメの高温障害についてのメカニズムおよび適応策について研究してきた。温暖化に対するコメ生産の適応策について、国内のみならず海外の研究者に広く周知することは重要である。

そこで、出張者は、これまでイネの開放系大気 CO<sub>2</sub> 増加(Free-Air CO<sub>2</sub> Enrichment; FACE) 実験を通じて、高 CO<sub>2</sub> 濃度条件が外観品質の低下させる要因を解明についての研究成果を、国内外の研究者に発信し、研究者と交流・連携を深めた。